埼野研

促成トマトで1位の坂田正美さん

埼玉県熊谷市下川上
さかた園芸　坂田正美さん

㊨3年ぶりに埼野研促成トマトの部で1位の坂田正美さん
㊧色艶がとても良いトマトは全国発送もしている。可愛らしい外箱は久美子夫人のアイデア

埼玉県野菜園芸技術研究会（加藤浩会長）主催の立毛共進会、促成トマトの部において1位になった熊谷市の坂田さんは先代の丈夫さんが行っていたトマトづくりを受け継ぎ、日々努力を惜しまずトマト本来の味を目指した栽培を行っている。また、良い資材があれば積極的に使う姿勢も先代譲りだ。

桃太郎はるかを栽培

480坪のハウスでのは11月10日で花芽がCF桃太郎はるかを長虫眼鏡で見ないとわから年作っている。「はるらないような苗でしかにしてからだいぶ経た。それでうちで3週ちますが、この品種が間育苗したので定植が自分に合っているみた12月になってしまったいで、まだ当分はこれんです」当然収穫が遅でいこうと思っていまれて販売に影響が出てす。玉がきれいで艶もしまうところだが、「おあるし実が赤くなるん客さんはそろそろ坂田ですよ」選別作業をしさんのトマトが出来るながら坂田さんは語っ頃だとわかっていて、てくれたが、完熟どりものがないと大変だからしているので見るかららずいぶん温度を上げに美味しそうだ。ました。寒い日が結構

今年の栽培については、「4月に入ってからあったからかなりボイ暑くなって急に温度がラーを焚いたのでガソ上がったもんだから樹リンスタンドの人が頻が暴れて果形も少し乱繁に来ましたよ。1回れたりと、今が一番苦来ると20万円、早いとしんでいるところだけきは1週間に1回来るれども少し持ち直してような感じでしたから、経費が相当かかってきました。タキイさんてしまいました。肥料が来てくれるので良いや資材代も上がっている作り方を教えてもらいというのにね」価格ながらやっています」転嫁せざるを得ず、袋

例年は11月初旬の定入りは据え置きだが量植だが、今作は1か月を少し減らし、箱入り遅れの12月定植になっは数を減らすことが出てしまったという。「苗来ないからサイズ（2屋さんの手違いで来た キロ箱・4キロ箱）によって100～300円上げたという。

光合成促進でグロウエア使用

肥料は特別栽培農産物の認証をとっているので窒素量を抑えるために今作では埼玉農工幾料販売（埼玉県加須市）の商品を中心に使ったという。「有機到来、コージくん本生、すごみペレット、そのほかに蠣殻とか農協のケイ酸加里を使っています。それから元肥は少なめで追肥で追っていこうということで、それにはやはり埼玉農工さんのトップハーベスト、マッスルK、サンエイヨーKUPを。それから去年と違って光合成促進のためにCO2発生機（ネポン・グロウエア）を結構使いました。デルフィージャパンのオンラインセミナーで斉藤章先生が光合成をよくした方が量は穫れるし、いいものが穫れるというので。いままでそんなには使っていなかったんだけれども、うちも少し真似してみようかということで450ppmまで上げたところ、果形がよくなってA品率が上がりました」

潅水は定植時にたっぷりと与えるようにし、第一果房が肥大を始めたら草勢を見ながら潅水する。そのほか分子振動活性装置のハイエットも長年使っていて葉面散布しているが、やっぱり違いが出るようだと坂田さんは言う。

病気はほとんど出てない。「最近になって灰色カビを2つ見ただけで、葉かびは出ていません。カーテンを自動にしたときに結露除去の装置がついているのを入れていて、結露がある程度つくと暖房機が回って送風になるんですが、それがずいぶん効いているみたいで。天気が悪かったからよそでは結構灰色カビが出たみたいです」

土が出来上がって堆肥は入れず

栽培は14段あたり、7月上旬まで収穫する。そのあとの管理は、「モアで生木を粉砕してから土壌還元消毒をします。前回はリサール興産のカルスNCRを入れて水を張り太陽熱消毒を一か月やりました。還元剤入れてマルチを張って水を入れてが7月20日ぐらいですね。熊谷のうちわ祭りが7月20日からあるですが、それをやっている時に雷雨があって梅雨明けみたいな感じになるんです。だからそれまでにやっておいた方が楽ということで。結構暑かったから効いたと思います。あとは苗がくる10日くらい前、だいたい10月半ばに肥料を入れ始めます」

堆肥は入れていないが、それはすでにいろんなものが入っていて出来上がっているからだ。ちなみに坂田さんは全国土の会の会員でもある。「東京農大で大会やった時に後藤先生がサンプルを出してくれということで診断してもらったら、バランス的には良かったんだけれども全体的に量が多いと。リン酸なんかもまだ多いですが、うちの土は出来すぎていると後藤先生は言ってくれてました」

丹精込めて栽培したトマトは自宅の直売所と全国発送がメインで、奥さんの久美子さんが担当する。「いろいろやってくれて私は作る方に専念できるから本当に助かります。農業女子プロジェクトのように女性の活躍が注目されていますが、男性とは目の付け所が違ったり、細かいところまで気がつくんですね。自分ならば普通の茶色い箱で送ればいいと思うんだけれども、見栄えのする箱にして送ったらトマトもより一層美味しそうに見えて好評なんです。それから今年は日本モウルドのトレイを使ってみたんだけれども、詰めるのがすごく楽なんです。果実のバラツキが多少あっても転がらないし、宅配便で送ってもクレームが全然ない。少し値段はするけれども見た目も良くなるしね。東京支店が埼玉の春日部にあって、埼野研の総会にも展示で来てくれたりして、それで使ってみたんです」

濃厚なトマトジュースなど加工品も人気がある

彩農ガールズの会長務める

妻の久美子さん

久美子さんは県主催の農業女子キャリアアップ講座を受講し、その時の仲間と「彩農ガールズ」を結成して会長を務めている。現在県内の10名で活動して、各自が生産した農作物のPRや情報発信を行っている。

（3面つづく）

美味しいトマトを食べてもらいたい

研修に行ってから農業に対する考え方が変わってきたという。

「主人がトマト栽培を継いで私は手伝い程度でしたが、いまは販売全般を担当しています。コロナ禍になって食べることが一番大切だなと改めて思いました。世の中便利になって簡単に調理できるものが多くなりましたが、そういうのは添加物とかいろいろ入っていて嫌だよねということや、本当に美味しいものを子供の時から食べてもらえば好き嫌いのトマトしか食べないんだよと言って買いに来てくれるおばあちゃんもいます。本当に美味しいものを食べてもらいたいと思って3人で頑張っています」

労力は坂田さんのお母さん（幸子さん）が手伝ってくれるので家族3人。ちょうど作業場にいたので話を伺った。「息子もお父さんのあとをを継いでくれて美味しいトマトを作っています。お客さんが買いに来てそれを友達とかに配ると口コミで買いに来てくれたり、うちのを食べるとスーパーとかで売っているトマトは食べられないと言うんです。家族でやるのは大変ですがそれがいいんです。後継者がいないところも多くて農家がどんどん減ってしまい、このあたりでトマトを作っているのはうちと養田さんくらいになってしまいました」

久美子さんは、「娘が2人いてだいぶ大きくなったけれども、大学を卒業するまでは頑張って働いて、そのあとはそこそこ自分達が食べていけるくらいの収入になってしまうという話をしています」加工品のトマトジュースやサイダーも作って好評販売中である。

コロナ禍の3年間は売り上げもとくに落ち込むことはなかったという「逆に皆さんどこにも出かけられなかったから、ここに買いに来るくらいは大丈夫だろうということで、お子さん連れが結構多かったですね。皆さん美味しかったと言ってくれるし、友達にあげたりしてまた買いに来てくれたりと。孫はここもなくなるのかなという話をしています」

栽培と販売の相互協力で美味しいトマトを消費者に届ける坂田夫妻

家族3人で頑張っている坂田さんのトマトは、ホームページ（さかた園芸で検索）にて商品紹介や購入方法を紹介している。

台頭いちじるしい「まりん」

全国の産地を席巻

埼玉県野菜園芸技術研究会（加藤浩会長）主催の施設野菜立毛共進会、半促成きゅうりの部ではすべての出品者が埼玉原種育成会の「まりん」を栽培している。2月～9月定植の作型に適しており、複合耐病性（ウドンコ病、褐斑病、ベト病）で秀品率や収量性もよいことから、各産地で導入が進んでいる品種となっている。

主な特長

▽**適作型**　ハウスでの2月～9月定植、半促成、無加温、雨よけ、抑制、晩抑。

▽**主枝雌花率**　2～5～9月定植で60～70％程度。2果成り多い。

▽**草姿・草勢**　しっかりした生育で徒長しにくい。主枝は太さ中位で中節間。側枝は中節間で発生は良い。孫枝は側枝の収穫が始まってからは、短～中節間の枝がゆっくりと発生する。葉はやや大きめで、葉色はやや濃い。

▽**果実**　100㌘果で21～22㌢。濃緑色で光沢が極めて良い。首から尻までよく整った円筒形で、果揃いがとても良い。食味や食感が良く、店持ち性も良い。

▽**収量**　主枝雌花着生の多さと実の肥大の良さから初期収量が多い。枝はほど良く発生するので草姿バランスが終始安定し、秀品多収となる。

▽**耐病性**　病気の発生は全般に少なく、とくに褐斑病、ウドンコ病に強い耐性を持ち、ベト病にも比較的強い。

栽培ポイント

○収穫開始までのしっかりとした樹作りが大切。下位からの雌花着生が多く、草勢不十分の場合は思い切った摘果も必要。そして特性を活かすために積極的な肥培管理をした方がよいが、定植から活着、伸び盛り、そして収穫が始まるまでは基本的な肥培管理でよく、徒長させずに旺盛な生育を図る。

○収穫最盛期を迎える頃から機械的な摘芯は控え、中～上段の孫枝及び、ひ孫枝を活かす整枝を心がける。

○収穫が進むにつれて、株の立体作りを意識した整枝に努めることにより、中後半まで多収穫が期待できる。

○こまめに水分を与えながら果実肥大を促し、草勢低下をさせないようにする。

㈱埼玉原種育成会
㈱シード
栗田　悌氏

「まりん」はお陰様で発売以来生産者の皆様から好評を得て各産地の主力品種となっており、中には100％「まりん」の産地も多い状況です。その要因としては、①草勢バランスの良さ、②秀品率の高さ、③高温時の奇形果の発生の無さ、④初期収量の多さと総収量の多さ、⑤品質の良さ、⑥耐病性の高さ、⑦作りやすい、といった多くの特長を持ち合わせていることで、生産者からは、「とても作りやすい、「暑くとも果形の乱れがとても少ない」、「初期からたくさん穫れて、果形良く収量多い」、「病気に強いことがとても良い」といった評価をいただいております。

このあと6月から9月にかけて定植する場合のポイントですが、台木はブルームレス台木の場合は「ゆうゆう一輝黒タイプ」、「オールスター一輝」、「RK－FGY－3」、ブルーム台木では「ウルトラ南瓜」「ウルトラ9B」が適しています。初期から多収となるため収穫開始までのしっかりとした樹作りが必要なほか、特性を活かすために積極的な肥培管理が必要になります。

セーフティネット構築事業公募開始

農水省及び日本施設園芸協会は燃料価格高騰時に補填金を交付する令和5事業年度「施設園芸セーフティネット構築事業」の加入募集を4月27日から行っている。施設園芸農家3戸以上、または農業従事者5名以上で構成する農業者団体等で、3年間で燃料使用量を15％以上削減する計画を作成することが加入条件となっている。また補填に使用されなかった積立金は、掛け捨てではないため事業終了後に還付される。

▽**対象燃料**　施設園芸で使用するA重油、灯油、LPガス、都市ガス。

▽**補填積立金**　積立金＝積立単価×年間燃料購入予定数量×1／2

▽**対象期間**　10月から翌6月までの間から選択。

▽**公募期間**　8月15日（火）まで。

▽**募集要項及び申請様式**　日本施設園芸協会のホームページにて事業の詳細や申請方法を閲覧することが出来る。

最高の苗作りをお手伝いします
TY育苗ポット培土
好評発売
果菜類、花卉、その他鉢上げ用
50ℓ入り
（製造充填時容量）

●7つの微量要素（マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅・マグネシウム・モリブデン）入り。
●通気性・保水性・透水性に優れた「育苗培土」です。
●生育に最適なpHに調節してあります。
●軽量設計で作業性がアップします。

＜使用上の注意点＞
■最初に使用する際は、十分に灌水して下さい。
■栽培中は本品を乾燥させないようにして下さい。
■初期生育の肥料が入っておりますが、状況に応じて追肥を行って下さい。

【肥料添加量 mg/ℓ】

チッソ	リンサン	カリ	pH	EC
200	600	200	5.5～6.5	1.0以下

スイカ・メロン・接ぎ木台木・小松菜
ハクサイ・からし菜・ニラ等の育種元
東洋農事株式会社　〒309-1127　茨城県筑西市桑山2000-1
電話0296(57)2225㈹　FAX0296(57)9712

村田の苗は土づくりを基本とし
環境にやさしい手作り苗です!!

全国各地のJA（支所を含む）のほかに問屋等200件余りの取引先への苗出荷を通して、生産者の方々の栽培を支えています。村田の苗は全国的に高い評価をいただき、数々の賞を受賞しています。

キュウリ接木苗 7.5㎝
本葉2～2.5枚まで

トマト接木苗 9.0㎝

好評2本立苗

育苗種類はキュウリ、トマト、ナス、メロン、スイカ、カボチャなど多種類に及びます。ここに示したのはほんの一例です。

ナス接木苗 7.5㎝
本葉4.5～5.5枚

ピーマン苗 9.0㎝
本葉8～10枚まで

ご注文はお近くのJA、種苗店等を通じてご用命いただいています。
なお、お問い合わせは下記へ。

（株）村田農場
〒791-0214 愛媛県東温市南野田734-1
TEL 089(964)7878　FAX 089(964)0406
ネットからのご注文も承っています。　http://muratafarm.co.jp